

Vol. **10**

子どもが創る 多摩市の未来

Education for Sustainable Development 実践事例集



Toward the future, 2050



令和7年3月
多摩市教育委員会

実践事例集 目次

Contents

【はじめに】……………1

2050年の大人づくりに向けて

多摩市教育委員会

【多摩市の進める ESD】……………2

【令和6年度 ESD 推進校の実践】…………… 4

○多摩中学校区……………4	○聖ヶ丘中学校区……………16	○鶴牧中学校区……………28
□ESD 推進校の取組概要	□ESD 推進校の取組概要	□ESD 推進校の取組概要
□ESD 推進校の実践	□ESD 推進校の実践	□ESD 推進校の実践
多摩中学校・多摩第一小学校・東寺方小学校	聖ヶ丘中学校・連光寺小学校・聖ヶ丘小学校	鶴牧中学校・南鶴牧小学校・大松台小学校
□ESD 推進校の成果と課題	□ESD 推進校の成果と課題	□ESD 推進校の成果と課題
□代表児童の感想	□代表児童の感想	□代表児童の感想
		□代表生徒の感想

【令和6年度 多摩市立小・中学校の実践】……………41

○多摩第二小学校……………41	○瓜生小学校……………47	○和田中学校……………53
○多摩第三小学校……………42	○東落合小学校……………48	○諏訪中学校……………54
○北諏訪小学校……………43	○貝取小学校……………49	○多摩永山中学校……………55
○西落合小学校……………44	○豊ヶ丘小学校……………50	○落合中学校……………56
○諏訪小学校……………45	○愛和小学校……………51	○青陵中学校……………57
○永山小学校……………46	○東愛宕中学校……………52	

【「多摩市子どもみらい会議」のメッセージを踏まえた取組】……………58

【多摩市 ESD コンソーシアム連絡会 2024(報告)】……………63

【令和6年度 多摩市子どもみらい会議(報告)】…………… 64



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



2050年の大人づくりに向けて



多摩市教育委員会
教育長 千葉 正法



多摩市教育委員会では、平成21年度から「持続可能な社会の創り手」として必要となる資質・能力の育成に向けて、E S Dを重点施策に位置付け、取り組んできました。そしてこの10年の間に各学校では、各中学校区でE S Dを通して育成する資質・能力について連携を図るなど、総合的な学習の時間を中核として内容の見直しと改善を継続的に図りながら、コミュニティ・スクールと共に地域ぐるみでの教育の一つとして、E S Dの充実と発展を目指してきました。

今では、E S Dは各学校の特色ある教育の一つとして展開され、各学校の教育の中心となるものとして根付いています。「身近なことから課題を見付け、課題解決のための方策を考え実行し、みんなで取り組んだことを発信する」という一連の学習のサイクルの中で、子どもたちは、試行錯誤をしながらその主体性を発揮し、持続可能な社会に必要な資質・能力などを身に付けてきています。

さて、今年の「多摩市子どもみらい会議」では、参加した市内九つの小・中学校がE S Dの学びから気付いた課題について協議を行い、多摩市への提案を行いました。その際、多くの市役所の職員の方々にも協議に参加してもらい、情報を提供してもらったり、質問をしたりしながら、意見を出し合いました。このような様子を見て、講師の株式会社 ベネッセ教育総合研究所の小林一木氏から子どもたちに向けて、みらい会議を含むE S Dの取組について、価値付けていただきました。E S Dを通じた探究学習という共通体験から対話を重ね、市政への提言という一つの合意にたどりつくために、子どもたちは活発に意見を出し合いました。今回、話し合ったことを行動に移し、今回のみらい会議だけでなく、日頃から「自分たちにできることは何か」と考え、実際にやってみることが大切であることを改めて認識する良い機会となったことと思います。

本事例集には、各学校の特色あるE S Dの取組が掲載されています。他校の取組を知ることによって、「自分の学校ではどんなことができるだろうか」「自分たちの住む地域に合わせて取組を変えてみよう」と参考にすることができ、より行動に移しやすくなるのではないのでしょうか。人口減少や地球温暖化をはじめ私たち大人にとっても、これからの社会のことを考え、つながり、関わりながら子どもたちを支援していくための指針となるでしょう。一人では解決できない課題も力を合わせて知恵を集め、解決に結び付けることが重要です。

結びになりますが、多摩市立学校のE S Dの推進のためにご協力いただいた関係機関の皆様、E S Dコンソーシアムにご参会、ご賛同いただいた地域、企業、大学等の皆様、学校の教育活動を日頃から支えていただいている保護者、地域の皆様、子どもたちを導いてくださっている校長先生をはじめ教職員の皆様に感謝を申し上げ、あいさついたします。



ESDの推進

持続可能な開発のための教育



Education for Sustainable Development

多摩市の進める



多摩市ユネスコスクール
イメージキャラクター「ゴー
ヤン」

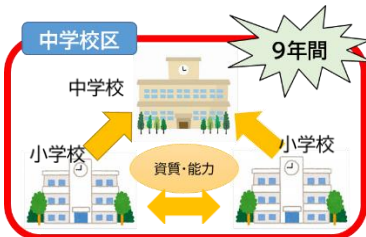
ESDとは、「持続可能な社会の創り手」を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動する力を身に付ける学習や活動のことです。

平成 21 年(2009 年)から「**2050 年の大人づくり**」をスローガンに、ESDを推進しています。これまでに、多摩市全公立学校が「ユネスコスクール」として、環境教育をはじめとした様々な視点から、ESDの推進拠点として特色のある活動を展開してきました。

次の10年を見据えたスローガン

「**2050 年の大人づくり**」に向けたセカンドステージへ

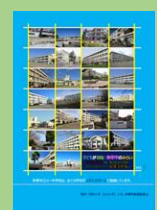
セカンドステージの3つの方策

方策① 小中連携したESDの推進	方策② SDGs(持続可能な開発目標)の 達成を目指したESDの推進	方策③ 「多摩市子どもみらい会議」の充実
子どもたちの実態を踏まえ、各中学校区においてESDを通じて育成する資質・能力を設定し、小学校の学びを中学校へつなげていきます。 ※中学校区…1 中学校2小学校を基本として構成される区分。多摩市は 9 中学校区に分かれる。  ▲小中 9 年間を通じたESDでの連携イメージ	2030 年までに持続可能なよりよい社会を目指す国際目標SDGs (Sustainable Development Goals)の達成を目指した教育活動やESDの視点を明らかにした教科等横断的な学習を推進します。  ▲SDGs(持続可能な開発目標)	平成 27 年(2015 年)から開催してきた子どもたちによる ESD の実践の場である「多摩市子どもみらい会議」において、参加した子どもも大人もみんなで、その実践の在り方を共有し、ESD の学びを実生活や社会の変容へつなげていきます。  ▲「多摩市子どもみらい会議」の様子



市民の皆さんへ

教育委員会では、多摩市のESDの取り組みや各学校の取り組みを、市民の皆さんへお知らせしていきます。



▲ESD啓発チラシ

▲ESD実践事例集「子どもが創る 多摩市のみらい」

令和 6 年度

多摩市子どもみらい会議

2050 年の多摩市のために
私たちにできること ～SDGsの達成に向けて何をすべきか～

令和7年1月24日(金) 午後1時30分から午後4時30分まで

多摩市立多摩中学校 体育館

多摩市教育委員会では平成 21 年度から「2050 年の大人づくり」をスローガンに ESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、平成 27 年度からは子どもたちの ESD の取組の成果発表と市政や市民へのメッセージを考え発表する「多摩市子どもみらい会議」を開催しています。

今年度も、「2050 年の多摩市のために私たちにできること～SDGs の達成に向けて何をすべきか～」をテーマに、参加する子どもたちが ESD の取組から学んだことを基にして持続可能なまちづくりに向けた提案とメッセージの発信を行います。

第1部

中学校区での
各学校の ESD
の取組発表

第2部

中学校区での
協議・意見交
換・提案の検討

第3部

全体での協議・
メッセージ作成

第4部

市政への提案・
メッセージ
発表

- ・協議には、各学校の ESD の取組に関連のある多摩市役所の職員も参加します。
- ・第4部終了後に、講師の先生から、子どもたちの取組について講評をいただきます。

講師：ベネッセ教育総合研究所 小林 一木 氏



参加校(令和6年度 ESD 推進校)

【多摩中学校区】多摩中学校・多摩第一小学校・東寺方小学校

【聖ヶ丘中学校区】聖ヶ丘中学校・聖ヶ丘小学校・連光寺小学校

【鶴牧中学校区】鶴牧中学校・南鶴牧小学校・大松台小学校



多摩市ユネスコ
クールイメージキャ
ラクター「ゴーヤン」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(昨年度の多摩市子どもみらい会議の様子)

【主催・問い合わせ】教育委員会教育指導課
☎ 042-338-6913